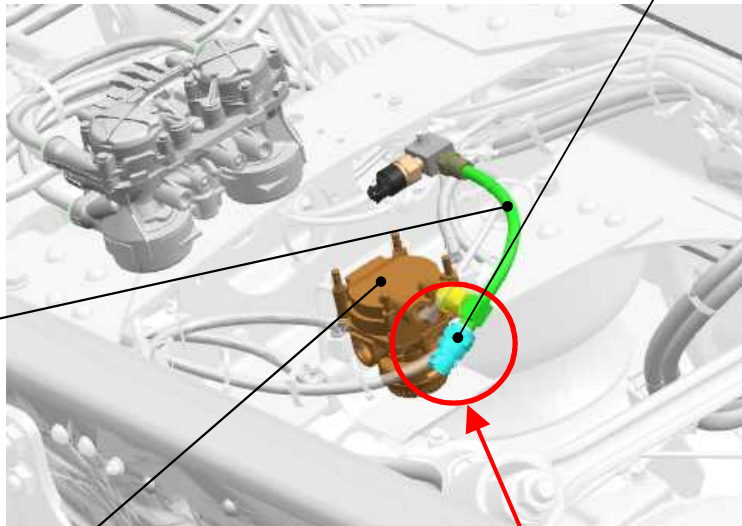


改善箇所説明図



車両前方

駐車ブレーキ警告灯用スイッチ



エアチューブ

リレーバルブ

基準不適合発生箇所

大型トラック・バスにおいて、駐車ブレーキ警告灯用スイッチが不適切なため、エア配管内に発生する凝縮水によって当該スイッチが正常作動しなくなるものがある。そのため、駐車ブレーキを解除しても、駐車ブレーキの作動状態を正しく表示しない場合があり、Dレンジでの自動変速が不能(マニュアルモードでの変速は可能)になると共に、EZGO(坂道発進補助装置)とヒルホルダ等が機能しなくなるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、駐車ブレーキ警告灯用スイッチを対策品に交換すると共に、装着位置を変更する。

注 : は対策品に交換する部品を示す。

識別 : 作業完了車には、白色ペイントを塗布する。

大型トラック: リレーバルブの下面、

大型バス : 駐車ブレーキ警告灯用スイッチに接続されるエアチューブ